

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 19年 11月 13日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2870901473		
法人名	特定非営利活動法人エコロジーネットワーク		
事業所名	エコ西宮		
所在地	西宮市薬師町5-50 (電話) 0798-67-7775		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉市民ネット・川西		
所在地	兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	平成19年9月14日	評価確定日	2007年11月13日

【情報提供票より】(事業所記入日 2007年 8月 10日)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成14年 12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤4人, 非常勤 8 人, 常勤換算	11.2 人

## (2) 建物概要

建物構造	木造瓦 造り
	2階建ての 1 ~ 2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	28,350 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,050 円	

## (4) 利用者の概要 平成19年8月10日

利用者人数	17 名	男性	4 名	女性	13 名
要介護1	3	要介護2	6		
要介護3	6	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	0		
年齢	平均 84 歳	最低	73 歳	最高	93 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	ひだクリニック、竹内歯科
---------	--------------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

阪急門戸厄神駅から東に行ったロケーションに恵まれた住宅地の一角にある。ホームでは、利用者の方に我が家と思ってもらえるよう、本人の意向を尊重し、家族と連絡を密にするよう努めている。地域密着型サービスになり、運営推進会議が開かれ、市や地域とのつながりができ、孤立が避けられるようになったと評価している。今後はより積極的に地域に働きかけ、双方向の関係を作り、利用者が地域の中でその人らしく生活していける支援を望みたい。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4)
	前回の評価を受け、事故報告書、ヒヤリハット報告、各種記録に記入者と確認印を押し、事業所内に理念の掲示を行い、カーテンを防災に変える等の改善をした。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4)
	自己評価は管理者が行った。職員は関わっていない。ホームの現状と項目の内容の間に問題があると思った。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6)
	ホームから現状報告をし、家族等や出席者との意見交換を行っている。地域には自治会がなく、近隣との付き合いもできていなかったが、運営推進会議を開催して、理解者が増え、孤立が避けられるようになった。行事の協力要請もしている。今回の第三者評価についても伝えている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8)
	問題のある利用者には、随時家族に報告し、安心してもらえるようにしている。管理者が苦情や不満、要望等の窓口になっている。健康管理に問題のある利用者の家族からの相談はあるが、苦情が寄せられることはない。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3)
	自治会はないが、運営推進会議を開催する中で、地域との距離が近くなった。民生委員や地域からのお誘いや市の情報等をもとに地域の人々との交流を図っている。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・利用者の安定した生活と家族の安らぎの支援を理念としているが、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容にはなっていない。		・事業所は地域密着型サービスになり、孤立が避けられるようになったと評価している。そして、地域の中でその人らしく生活していく支援を理念に加えたいと検討中である。早急に現状にあった理念に作り変えることが望まれる。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・利用者に安心してもらい、家族にも良質のサービスが提供できるよう理念をスタッフルームに掲示している。毎朝のミーティングで確認し、ケアの中でも職員同士声かけをしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・自治会はないが、運営推進会議を開催する中で、地域との距離が近くなった。民生委員や地域からのお誘いや市役所や職員の情報をもとに地域の人々との交流を図っている。グループホームの行事に地域の人々が参加することはないが、相談を持ちかけられることがある。		・事業所から積極的に地域へ働きかけ、双方向の関係ができることを望みたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・今回の自己評価は管理者がおこなった。前回の第三者評価の結果を踏まえ、記録の整備、確認印の徹底等、改善に取り組んでいる。		・事業所全員で自己評価に取り組むことによって、職員がケアの振り返りや見直し等に気づき、意識の統一が可能になるので、全員で自己評価に取り組むことを期待する。

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・家族、市の職員、民生委員、事業所職員等が出席している。近況報告や事業所の問題点の説明等を通して、家族の意見や思いが聞けたり、出席者の協力の申し出がある等、事業所の理解者が増えた。今回の外部評価についても伝えている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・医療ニーズの高い利用者の対応について市役所に相談や確認をしている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>・毎月行事等は通信で家族に送っている。問題のある人については、近況報告、問題点を文書で報告している。</p>		<p>・特に問題のない利用者についても、家族に利用者の暮らしぶりを報告して、きめ細かい連携を取ることが望まれる。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・管理者が家族等の苦情や不満、要望等の窓口となっている。健康管理に問題のある利用者の家族から要望や相談があるが、苦情が寄せられることはない。</p>		<p>・家族会は以前行っていたが、出席者が少なく中止しているとか、行事等の声かけをするが参加は少ないとのことだが、職員や事業所側から意見等を積極的に聞く努力や場面作りが求められる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・主軸になる職員の異動はないので他の職員が多少入れ替えがあっても利用者特にダメージはないと考えている。離職の場合は一ヶ月前に引継ぎをし、利用者や家族に配慮している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・職員に外部研修の情報を知らせている。西宮市のグループホームのスタッフ連絡会への参加も勧めているが、職員はほとんど参加していない。</p>		<p>・忙しい仕事の中での研修参加は大変だろうが、運営者は職員の質の確保・向上に向けた育成を具体的に検討し、職員研修に取り組んでほしい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・西宮市のグループホームの管理者連絡会やスタッフ交流会が2ヶ月に一度開催される。管理者は行政への要望、グループホームの運営等について意見交換している。外部評価や地域密着型の理解等の研修も行われている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・利用前見学に来てもらう。(利用者同伴でない場合もある)入院中の場合は病院を訪問することがある。利用前に生活歴や要望等を家族やケアマネジャーから聴き取っている。利用当初は職員は、特に声かけに気をつけ安心してもらえるよう工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・利用者の得意なことを職員の支援で発揮してもらったり、日常生活の中で、洗濯物を干したり、取り込んだりを日課にして協力を得ている。職員の気持ちを理解し支えてくれる利用者もいる。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・利用者の思いを居室で対面で話し合ったり、本人の表現しにくいことは、行動や表情等でくみ取るようにしている。ミーティングや申し送り時に職員の気づきを出し合い理解するように努めている。</p>		
<b>2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・本人の希望を可能な限りプランに反映させる姿勢である。職員の記録やリーダーの気づき等を活かした介護計画作りに努めている。</p>		<p>・リハビリの療法士の助言をもらい計画に入れることもある。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・見直しは3ヵ月毎及び必要にあわせ随時行っている。認知面や身体面の職員の気づきを介護記録に記録して、見直し時には参考にしている。</p>		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・退院後の通院等、状況に応じて通院介助などの支援をしている、重度化した場合など主治医や家族と早めに相談し支援している。</p>		<p>・今後、利用者の状態に応じた臨機応変の支援が期待される。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・入所以前のかかりつけ医を受診している人もいる。協力医の外来受診を基本としているが、状況に応じて相談のうえ、夜間・緊急等の往診は対応してもらっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・経口摂取での対応はできるが、それ以上重度化の場合は、家族と医師と相談している。重度化の場合は、スタッフ間のミーティングや家族との確認で注意している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・女性の入浴、排泄時の心くばりには特に配慮している。個々の記録の保管についても常に注意している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・利用者一人ひとりの生活リズムを優先している。そのため毎日の申し送り時には確認に特に注意している。声かけにおいても個人の状態にあった対応に努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・法人で食材を購入し調理したものをホームで盛り付け、味付け等整えて出している。利用者は盛り付け、後片付け等を手伝っている。職員は一緒に食事をとっていない。</p>		<p>・利用者と一緒に準備し、食事することの効果等も考慮した、前向きな検討が望まれる。</p>
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・週2回を基本とし、入浴時間については本人の希望を聞いている。入所間もない時期は、同性介助を原則としている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・パッチワークや刺繍、編み物などをしたり、自分の仕事として洗濯をしたり、野菜や花の手入れなどを日課としている人がいる。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・買い物や散歩などは出来るだけ対応している。個々に近隣の行きつけの理美容に行くこともある。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・危険が伴わないかぎり、玄関の施錠はしない方針だが、門はフックつきで施錠している。</p>		<p>・玄関の前は坂になっていて不安定であるが、一方閉塞感をあたえないために毎日の散歩の同行などに配慮されてはどうか。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・年1回、消防署の立会いで防災訓練をしている。</p>		<p>・利用者共々、日中だけでなく夜間想定も合わせた訓練が望まれる。そのために運営推進委員会など、近隣の協力を得られる働きかけが期待される。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・毎日の個々の食事や水分摂取量は記録している。朝食の果物、夕食後の一口のお菓子とお茶など、水分を取りやすいメニューを取り入れている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・玄関には長いす、居間にはソファを置いたテレビコーナーがあり、明るい雰囲気である。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・家族や利用者と相談しながら、使い慣れた持ち物を持ち込めるよう勧めている。使っていた小物入れや筆筒、仏壇などで、個々に自分の居室を居心地良くしている。</p>		

 は、重点項目。













